

環境報告書

取組期間：2014年4月～2015年3月
(H26) (H27)



弊社茶室 “ぬくい庵”

2015(平成27)年10月15日作成
株式会社 小島建材

事業概要



事業所名及び代表者名

株式会社 小島建材

代表取締役 小島 敏司



所在地

本 社 〒427-0013

静岡県島田市御請125番地 (但 登記上)

事務所 〒427-0019

静岡県島田市道悦3丁目10-7



環境管理の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 小島 卓美

環境管理担当者 : 小島 慶

連絡先 : TEL 0547-35-3646

FAX 0547-35-4725

E-mail toiwase@kozimakenzai.com



事業の内容

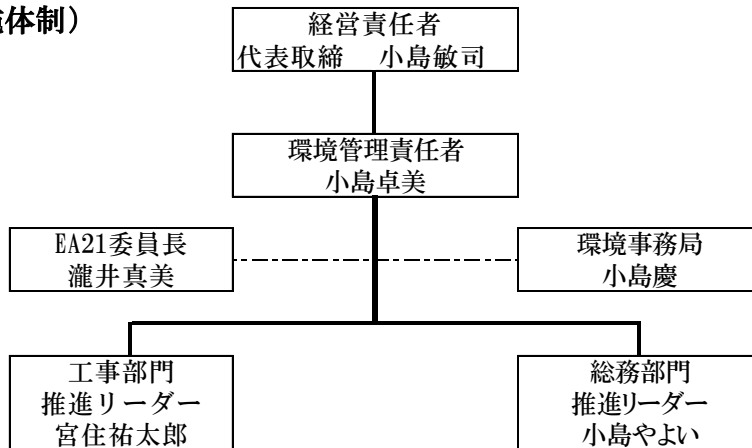
- ・ 建設業（土木、とび・土工、ほ装、造園、水道施設）
：静岡県知事許可（般-24）第19580号
- ・ 一般貨物自動車運送事業：中運自貨 第361号
- ・ 産業廃棄物収集運搬業：静岡県知事許可 第2201032272号
- ・ 道具商：静岡県公安委員会許可 第491180073400号
- ・ 砂利採取業

事業規模

(事業年度：4月～翌年3月)

設立	昭和57年4月20日		
資本金	10,000,000円		
	2012年 (第31期)	2013年 (第32期)	2014年 (第32期)
売上高	131百万円	132百万円	161百万円
従業員数	27名	32名	28名
床面積	396㎡	396㎡	396㎡

組織図
(実施体制)



環境経営システムの実施体制における役割と責任

担当	役割(責任と権利)
代表者 小島敏司	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人・設備・費用・時間・技能・技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 小島卓美	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認 従業員に対する教育訓練の実施
EA21委員長 瀧井真美	<ul style="list-style-type: none"> 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境関連法規等取りまとめ表 に基づく遵守評価の実施 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 問題点の発見、是正、予防処置
環境事務局 小島慶	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境関連法規等取りまとめ表 の作成 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動レポートの作成・公開
各部門責任者 総務部 工事部	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境目標・活動計画の周知 特定された項目の手順書作成及び部門ごとの教育訓練の実施・運用管理 自部門の問題点の発見・是正・予防措置の環境事務局への報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告

環境方針

《基本理念》

株式会社 小島建材は、地域との共生を図り、地球環境の保全とその重要性を認識し、豊かな自然を次世代に引き継ぐため、地球に優しい企業を目指し、環境に配慮した事業活動を行います。

環境経営の重要なテーマとして、次項を積極的に取り組みます。

《行動指針》

1. エコドライブ・節電に努めCO2の削減に取り組みます
2. 廃棄物の3R(発生抑制・再使用・再生利用)を推進します
3. 水資源を大切にし、使用量削減に取り組みます
4. 土木・建設事業に於いて、環境に配慮した資材(グリーン購入等)・作業方法の推進・普及に努めます
5. 環境ボランティア活動を通して、地域環境の美化 と 環境意識の向上に 取り組みます
6. 環境関連法規及び利害関係者に約束したことを遵守します

環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日 平成21年11月1日

株式会社 小島建材

代表取締役 小島敏司

5.環境目標

作成日：H26年6月1日

当社におけるH25年度(4月～3月)までの実績を把握、それらを基準として目標設定しました

【目標】

(H25比 マイナス%表示)

項目	単位	基準年(H25)	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
CO2排出量	kg-CO2	133,148.6	131,817.1	131,151.4	130,485.6	129,154.1
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
電気使用量	kwh	12,509	12,384	12,321	12,259	12,134
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
ガソリン使用量	L	17,301	17,128	17,042	16,955	16,782
			-1.0%	-1.6%	-2.0%	-3.0%
軽油使用量	L	25130	24879	24753	24627	24376
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
灯油使用量	L	8258	8175	8134	8093	8010
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
液化石油ガス (LPG)	kg	12.00	11.88	11.82	11.76	11.64
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
不要な紙類	kg	258.3	255.7	254.4	253.1	250.6
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
不要なコピー紙	kg	42.5	42.1	41.9	41.7	41.2
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
一般廃棄物	kg	234.8	232.5	231.3	230.1	227.8
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
建設副産物	t	132.8	131.5	130.8	130.1	128.8
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
水道水使用量	m ³	42.0	41.6	41.4	41.2	40.7
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
井戸水使用量	m ³	37.6	37.2	37.0	36.8	36.5
			-1.0%	-1.5%	-2.0%	-3.0%
グリーン購入品	品目	1	2	3	4	5
			+1品目	+2品目	+3品目	+4品目
環境配慮提案	件	1	2	3	4	5
			+1件	+2件	+3件	+5件

6.環境活動計画(H26年度)

★ 二酸化炭素排出量の削減

電力使用量の削減 ……(総務部)

- ・ 不要時に照明を消す
- ・ エアコン温度を調節する
- ・ 更新時に省電力型機器・器具に変える
- ・ 機器の空運転をしない
- ・ 機器の使用方法を工夫する

化石燃料使用量の削減 ……(工事部)

- ・ 車輛の点検整備(不要物を積まない、タイヤ空気圧を適正に保つ、エンジンオイル・フィルターを定期的に変換する)
- ・ エコドライブを徹底する(急発進・急加速をしない、空ぶかしをしない、低速で走行する、アイドリングストップを心掛ける)
- ・ 車輛の走行距離を可能な限り少なくする(計画的に移動する、他の輸送方法に変える)
- ・ タコグラフを使って運転の状況を改善する(緑ナンバー車)

★ 廃棄物排出量の削減 ……(総務部・工事部)

- ・ 廃棄物の分別を徹底する
- ・ 使い捨て製品(紙コップ、弁当容器など)の購入を抑制する
- ・ 廃棄物の再使用、再生利用の推進をする

★ 用水使用量の削減 ……(総務部・工事部)

- ・ 用水を使い終わったら必ず蛇口を閉める
- ・ 節水コマを入れるなど、用水の無駄な使用をなくす
- ・ 水道配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 雨水の利用法を工夫する
- ・ 井戸水にメーターを付けたので定期的に計測する

★ グリーン購入の促進 ……(総務部)

- ・ 事務用品等エコマーク商品の購入に心掛ける

★ 本来業務環境配慮提案に関連する事項 ……(工事部)

- ・ 部門間のコミュニケーションを確実にして誤作業をなくす
- ・ 仕入先及び納入先とのコミュニケーションを確実にして誤作業をなくす

★ 環境教育の推進 ……(環境管理責任者)

- ・ 社員に対して定期的な環境教育を実施する

7-1.環境目標の実績結果

作成日：H27年8月20日

H26年4月からH27年3月までの1年間の実績を目標値と比較し、評価を行った

【事業所】

項目	単位	期間目標値 H26.4～H27.3	期間実績 H26.4～H27.3	増減 %	達成度 ○△×	
CO2排出量	kg-CO2	131,817.1	129,293.9	-2.0%	△	
電気使用量	kwh	12,384.0	9,911.0	-20.0%	○	
ガソリン使用量	L	17,128.0	17,016.5	-0.7%	△	
軽油使用量	L	24,879.0	24,698.7	-0.7%	△	
灯油使用量	L	8,175.0	7,969.0	-2.5%	△	
液化石油ガス(LPG)	kg	11.9	9.1	-23.5%	○	
不要な紙類 (段ボール・新聞紙・雑誌)	kg	255.7	196.0	-23.3%	○	
不要なコピー紙	kg	42.1	49.7	18.1%	×	
廃棄物	一般廃棄物	kg	232.5	269.1	15.7%	×
	建設副産物	t	131.5	23.7	-82.0%	○
水道水使用量	m ³	41.6	40.0	-3.8%	○	
井戸水使用量	m ³	37.2	37.2	±0	△	
グリーン購入	事務用品	品目	2品目	3品目	+1	○
環境配慮事業	資材提案	件	2件	2件	±0	△

- 前年度 マイナス 3%以上
- △ 前年度 プラス3%未満～マイナス3%未満
- × 前年度 プラス 3%以上

購入電力CO2排出係数は中部電力(株)H25年度0.513(kg/kwh)を使用

7-2.環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容

作成日：H27年8月30日

H26年4月からH27年3月までの1年間の実績を目標値と比較し、評価を行った

項 目	評 価	実施度 ○△×	次年度取組
二酸化炭素排出量	排出量の要因は、エネルギー消費によるもので工作上仕方がない	○	継続
電気使用量	不要時の消灯、エアコン温度の調整等により減少	○	継続
ガソリン使用量	エコドライブが徹底してきた成果	○	継続
軽油使用量	少量ながらも要因はディーゼルエンジン車の削減による	○	継続
灯油使用量	石油ストーブ暖房機器の温度調整の工夫	○	継続
液化石油ガス(LPG)	ガスコンロの使用頻度を削減	○	継続
不要な紙類	新聞・段ボール等工作上社外への持ち出しがあり減少	○	継続
不要なコピー紙	倉庫内の資料を整理し、約10kg程度排出したことが要因で一時的に減少 両面コピーの徹底や裏紙利用を指導する	×	もう1年様子見
一般廃棄物	夏季の異常気温により現場で会社支給の使い捨て飲料容器が増加しているので、減らす為の話し合いが必要 マイカップの使用推進、アルミ・ペットボトル分別の徹底、適切な処分	×	再検討
建設副産物	仕事内容の変化によるもの	○	継続
水道水使用量	節水の呼びかけにより減少	○	継続
井戸水使用量	節水の呼びかけもあり数値に変化なし	○	継続
グリーン購入品	プリンターインク・消火器・文具のエコマーク製品購入	○	継続
環境配慮資材	ブラ面木・再生砕石の利・使用を提案	○	継続

8.環境関連法規の一覧及び遵守状況

作成日：H21年11月1日

確認日：H27年6月30日

承認	確認
小島	瀧井

1.環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される下記の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

(環境関連法規一覧)

— 該当なし

	関係法令名	法令のポイント	対応策	チェック方法	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (静岡県産業廃棄物処理条例)	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。産業廃棄物の発生から最終処分終了まで、適正に処理が成されるよう必要な措置を講ずるよう努める	産業廃棄物マニフェストの管理	マニフェスト管理台帳	○
			廃棄物処理契約書確認	委託契約書・許可証	○
			廃棄物委託業者への立入調査	立入調査	○
			収集運搬業の許可期限確認、交付等状況報告の作成・提出	許可証・状況報告書	○
2	建設工事にかかる資材の再生資源化に関する法律 (建設リサイクル法)	資源の有効な使用確保を図るとともに、産業廃棄物の発生の抑制、保全に関するため再生資源及び再生物の利用を目的とする	廃棄物を種類に応じた施設への適正な搬出	マニフェスト伝票の確認	○
			分別解体等の計画等の届出書	届出書確認	○
3	資源有効利用促進法	原材料等の使用の合理化を行うとともに、再生資源及び再生部品を利用するよう努める	再生資源利用計画書の作成 再生資源利用促進計画書の作成	計画・実施の入力確認	○
	騒音規制法	杭打機、杭拔機、削岩機、空気圧縮機、コンクリートプラント等を使用する作業、特定建設作業の実施の届出書（市町村长）（作業開始の7日前ま	日曜、祭日の作業自粛 低騒音、低振動機械の使用	指導 届出書確認	—
4	振動規制法	杭打機、杭拔機、ブレーカー等を使用する作業、特定建設作業の実施の届出書（市町村长）（作業開始の7日前まで	日曜、祭日の作業自粛 低騒音、低振動機械の使用	指導 届出書確認	—
5	低音騒音型、低振動型建設機械の指導に関する規定	低騒音型・低振動型建設機械の使用促進	低騒音、低振動機械の使用	指導	○
6	自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払	処理時に対応	確認記録	○
7	浄化槽法	保守点検の実施	3ヶ月に一度	確認記録	○
8	消防法	火災の予防	1年に一度	確認記録	○
9	家電リサイクル法	空調機・冷蔵庫及びテレビ	処理時に対応	確認記録	—
10	資源リサイクル法	パソコン本体、ディスプレイ、ノートパソコン及びプリンター	処理時に対応	確認記録	—
11	グリーン購入法	国等による環境物品等の調達 の推進	購入時に環境物品等の選択	確認記録	○

2.違反、訴訟等の有無

過去3年間において関係機関からの指摘及び地域住民等利害関係者からの苦情・訴訟等もありませんでした。

環境管理責任者 → 代表者 → 環境管理責任者及び関係者

「環境管理責任者から代表者への報告内容」		環境管理責任者氏名	小島 卓美	
		報告資料提出年月日	2015年9月28日	
見直し 関連情報	項目	確認（必要に応じ評価・コメントを記載）		
	1	EA21関連文書（見直し改訂案）	<input type="checkbox"/>	
	2	環境目標及び目標達成状況	■ コピー用紙と一般廃棄物に関しては未達成	
	3	環境活動計画及び取組実施状況	■ 次年度は今年度の取り組みを継続	
	4	環境関連法要求一覧及び遵守状況	<input type="checkbox"/>	
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input type="checkbox"/>	
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	<input type="checkbox"/>	
7	その他：取引先、業界、関連行政機関、その他の外部動向	<input type="checkbox"/>		
「代表者による全体の評価と見直し」の結果		代表者氏名	小島敏司	
		作成年月日	2015年 10月 1日	
代表者による 全体の評価と見直しの 指示	全体評価 (環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等)	<p>① エコアクション21の運用を再開して、環境方針・目標・活動計画等を示し、各自の環境への関心を期待してきたが、徐々に理解が得られてきていると実感。</p> <p>全員が「会社環境方針」に基づき、事業活動を進める中で、今後環境に配慮した活動を続けていきたい。</p> <p>② 電気・ガソリン等の削減は、まだ努力しなければいけない。</p> <p>③ 一般廃棄物は分別の徹底と、コピー紙の両面使用等により排出量の削減を図る</p> <p>④ 建設副産物排出量削減には、資材の再利用や無駄を無くすことを徹底し、搬出についてはマニフェスト管理を徹底する</p> <p>⑤ 水使用量の削減は、こまめな蛇口の開閉を徹底し又、井戸水にメーターが付いていることで使用量の把握ができるので減量を目指します。</p> <p>⑥ グリーン購入は事務用品等エコマーク商品の購入を積極的に進めていきたい。</p> <p>⑦ 環境目標、環境活動計画等の環境経営システム全体の見直しについては、今年の運用結果を見て来年度、見直しをしていきたい。</p>		
	見直し項目	変更の 必要性	変更〔有〕の場合の指示事項等	
	1	環境方針	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
	2	環境目標・計画	■有・ <input type="checkbox"/> 無	不要コピー紙目標H27年の41.9→50kgに変更 一般廃棄物目標H27年の231.3→300 kgに変更
	3	環境活動計画 と取組み項目	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
	4	環境に関する組織	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
	5	その他、環境経営 システムの要素	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
6	その他 (外部への対応等)	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無		